

令和2年度 事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人ぽんぽん船

- ・第1回理事会
開催年月日 令和2年5月15日（金）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 8名／理事人数8名
議決事項の概要
 - ・令和元年度事業報告及び決算について
 - ・令和2年度事業計画及び予算（案）について
 - ・役員を選任について

- ・通常総会
開催年月日 令和2年5月29日（金）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席会員 55名（うち表決委任者40名）／会員総数59名
議決事項の概要
 - ・令和元年度事業報告及び決算について
 - ・令和2年度事業計画及び予算（案）について
 - ・役員を選任について

- ・第2回理事会
開催年月日 令和2年6月1日（月）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 9名／理事人数9名
議決事項の概要
 - ・正副理事長の選任について
 - ・障がい者自立支援事業所ぽんぽん運営委員の選出について

- ・第3回理事会
開催年月日 令和2年10月30日（金）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 9名／理事人数9名
議決事項の概要
 - ・令和2年度積立金の積み立てについて
 - ・退職金規程の一部改正について
 - ・障がい福祉サービス 就労継続支援B 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船 運営規程の一部改正について

- ・第4回理事会
開催年月日 令和3年2月26日（金）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 9名（うち表決委任者2名）／理事人数9名
議決事項の概要
 - ・障がい福祉サービス 就労継続支援B 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船 運営規程の一部改正について
 - ・令和3年度事業計画及び活動予算（案）について

1 事業の成果

「障がい者自立支援事業を中心に、障がいのある方の自立した日常生活、社会生活の支援を行い、ノーマライゼーションの町づくりを推進する」という本法人の目的に沿い、下記事業を実施した。

①【障がい福祉サービス事業】 就労継続支援B型

障がい者の就労支援として、日中活動の場・就職に向けての総合的な訓練の場となるよ

う、個々に合った働き方を提供していくため、事業所の中での作業だけではなく、外部との関わりも大切にしながら、地域の企業や農業関係者等と連携して、多様な職種に取り組んできた。一時期、作業が減少する等、新型コロナウイルス感染症の影響があったが、新商品開発や作業体制の見直し、新たな作業への挑戦により、例年並みの作業量・作業収益を確保することができた。

また、事業所内や施設外就労での訓練を重ね、1名の利用者を一般就職に送り出すことができた。

[菓子製造]

型から手作りのオリジナルクッキーとフードプリンターによるプリントクッキー、両方を組み合わせてのクッキー等、デザイン・予算ともに、顧客のニーズにあった商品を提案・提供することで、常連客の他、新たな注文も増加し続けている。プリントクッキーが周知されたことで客層がさらに拡がり、市外からの注文も増えている。

個別注文の他、10店舗で販売しているが、店舗ごとの売上状況を把握し、欠品のないよう計画的に製造・納品することで売上アップにつながっている。また、クッキーの飾りつけや生地づくり等、利用者一人ひとりが新たな作業に挑戦してレベルアップするとともに、クッキーの飾りつけが簡単にできる治工具等を工夫したり、作業環境を改善することでスピードアップにもつながっている。

年度当初は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためのイベント中止や店舗の休業が相次ぎ、売上が激減したが、利用者がイラストを描いた「期間限定アマビエクッキー」の製造・販売、秋以降の注文の増加や店舗での売上の増加により、例年並みの収益を得ることができ、工賃向上につなげることができた。

[農作業（農福連携事業）]

平成25年度から3年間、島根県「障がい福祉と農業との連携促進事業（農福連携事業）」の中の「障がい者に適した作業改善、就労形態の実証研究」として、島根県農業技術センターにおいてモデル事業を実施してきた。この実証研究の一環として、平成27年度より地域の農家と契約をし、ぶどうハウスでの作業を実施してきた。平成27年度は1軒の農家での実施であったが、丁寧で正確な作業が評価され、平成28年度は4軒、平成29年度は6軒、平成30年度は7軒、令和元年度は7軒、令和2年度は新たなメンバー3名を加えて、8軒のぶどう農家での作業に取り組んだ。

ぶどう農家のニーズが高まることで、作業依頼が集中することもあり、島根県障がい者就労事業振興センターの農福連携担当者や島根県農業技術センター、農福連携事業に取り組んでいる他の就労継続支援B型事業所等と連携・情報交換しながら、作業を進めてきた。また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、クッキーの作業量が減ったため、菓子製造担当の利用者・職員も農業に参加し、2班体制で取り組んだ。初めて挑戦する利用者もいたが、丁寧な作業を農家さんに高く評価していただいた。経験豊富な利用者は、技術・スピードともにアップしており、農家からの期待も大きく、自信や励みにつながっている。

ぶどう作業の他、「農福連携障がい者チャレンジ事業」を活用して、アスパラガスの収穫作業と圃場片付け作業にも挑戦した。収穫作業は、ぶどう作業と時期が重なるため難しいが、圃場片づけ作業は、冬場の新たな農作業として取り組んでいくことができるのではないかと考えている。

農福連携の関係では、先駆的な取り組み・成功事例として、見学や事例紹介等の問い合わせも増えており、関係者の関心が高い。

〔清掃業務〕

出雲市より、田儀農村広場・シーサイド公園のトイレ清掃業務を継続して請負い、年間を通して安定した作業となっている。また、社会福祉法人多伎の郷 認知症グループホーム はなんばの里の清掃業務は、マナーや清掃の手順・技術を身につけ、短時間ではあるが週4日の安定した作業となっている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、健康チェックをして施設の清掃に参加する等、改めて、安全・健康に気をつけて作業を行うことの大切さを考えるきっかけとなった。

施設外就労を通して地域の方と関わり、交流をするとともに、適度な緊張感を持ちながら作業を行うことで、社会の中で働く力を身につけていく訓練の場にもなっている。

〔請負作業〕

(株)ナカバヤシの作業を中心に取り組む。複数の作業を年間通して行い、また、治工具等を工夫することで、より多くの利用者が作業に関わることができた。(株)かみありづき、(株)河内の内職作業の他、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症関連の作業として、選挙用鉛筆削り作業や布マスクの製造にも取り組んだ。

確実・丁寧な作業を評価され、安定した作業量を確保することができている。

〔アルミ缶リサイクル〕

地域住民をはじめとし、(株)多伎振興・(株)三笠産業等、地域の企業のみなさまのご協力により、例年並みのアルミ缶をリサイクルすることができた。缶の引取り価格が微増し、安定した作業量・作業収益の確保につながっている。

②【相談支援事業】 指定特定・指定障がい児相談支援事業

障害福祉サービス等を利用しながら、自宅での安定した地域生活が継続できるよう、本人のニーズをもとに関係機関と連携し、社会資源等の調整を行う等、相談支援事業に取り組んできた。旧出雲市・大社町の障がい児5名の相談支援を担当してきた。

③【地域生活支援事業】 日中一時支援事業

日中一時支援事業を実施。地理的な条件等により、令和2年度の利用希望はなかったが、長期休暇中の充実した活動支援・家族の負担軽減等、今後も地域のニーズに応えることができるよう事業を継続していく方向である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 単位(千円)
①障がい福祉サービス事業	就労継続支援B型	通年	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	5名	21名	33,254
②相談支援事業	指定特定相談支援事業	通年	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	1名	5名	900
③地域生活支援事業	日中一時支援事業	随時	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	0名	0名	0